

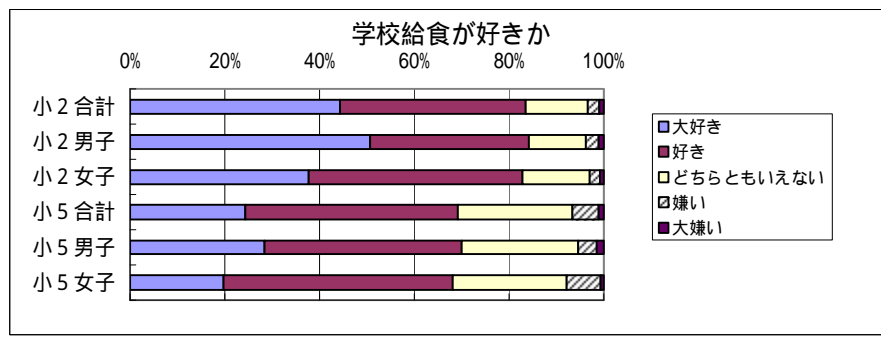
< 小学校 >

()内は、平成 17 年度の調査結果

1 学校給食が好きか？

学校給食が「大好き」「好き」と回答した児童は、2 年生 83.6% (78%)、5 年生 69.2% (61%)であった。低・高学年間で比較すると、2 年生の方が 5 年生よりも男女とも給食が好きだと回答する児童が多かった。

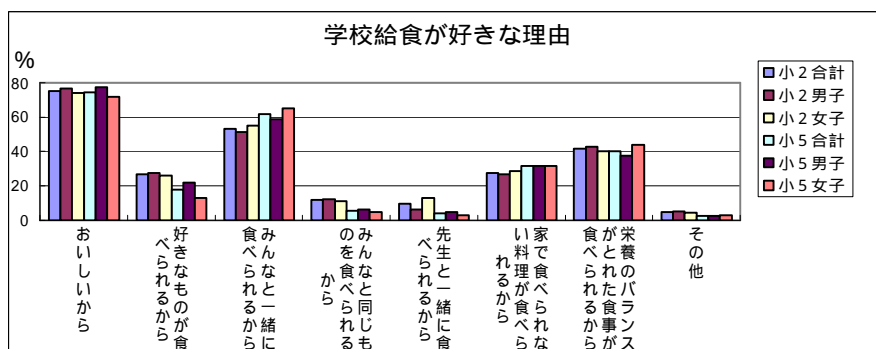
5 年生女子では、「嫌い」「大嫌い」と回答した児童が 7.7% あった。



2 学校給食が好きな理由、嫌いな理由

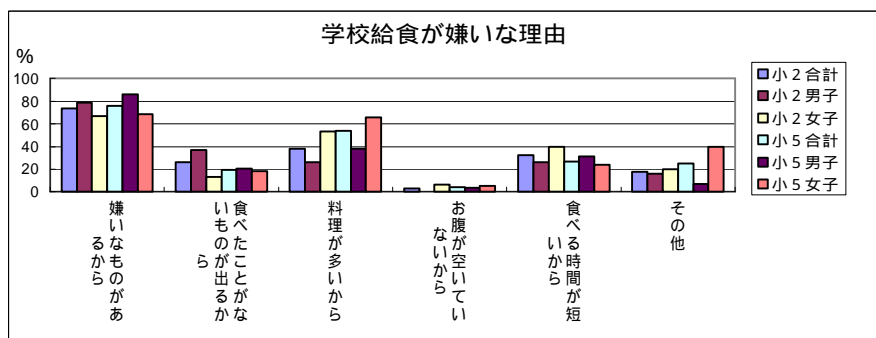
学校給食が「大好き」「好き」な理由は、「おいしいから」「みんなと一緒に食べられるから」と回答した児童が多かった。

前回調査と比較すると両学年とも「おいしいから」と答えた児童の割合が高くなっていた。



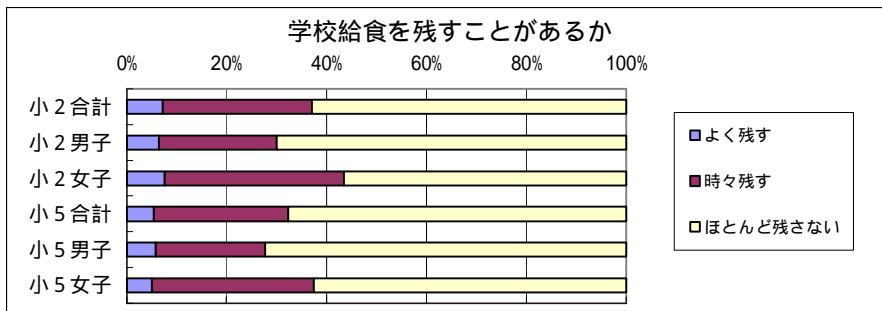
学校給食が「嫌い」「大嫌い」な理由は、「嫌いなものがあるから」「量が多いから」と回答した児童が多かった。特に、女子で「量が多いから」と答えた割合が高くなっていた。

前回調査と比較すると、「嫌いなものがあるから」と答えた児童の割合は、2 年生では減少、5 年生では増加していた。



3 学校給食を残すことがあるか、学校給食を残す理由

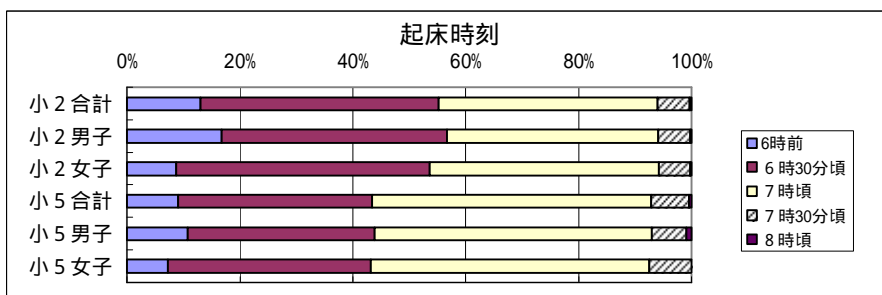
学校給食を残すことがあると回答した児童は、2年生 37.2% (48%)、5年生 32.3% (38%) であった。男女間で比較すると、2年生、5年生とも女子の方の割合が高くなっていた。



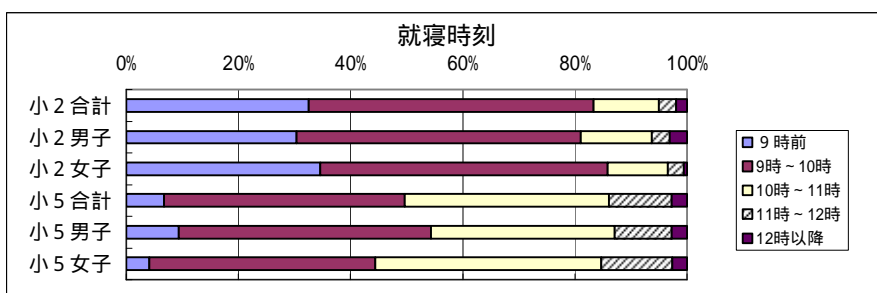
学校給食を残す理由は、両学年とも「きれいなものがあるから」が最も多く、「時間が足りないから」「量が多すぎるから」と続いていた。

4 起床時刻、就寝時刻

起床時刻は低・高学年間の差はあまりなく、「6時30分頃」「7時頃」と回答した児童がほとんどであった。「6時前」の起床は2年生の方の割合が高く、特に2年生男子が早起きしていた。「7時30分」以降と回答した児童は2年生で6.0%、5年生で7.2% (7%) あった。

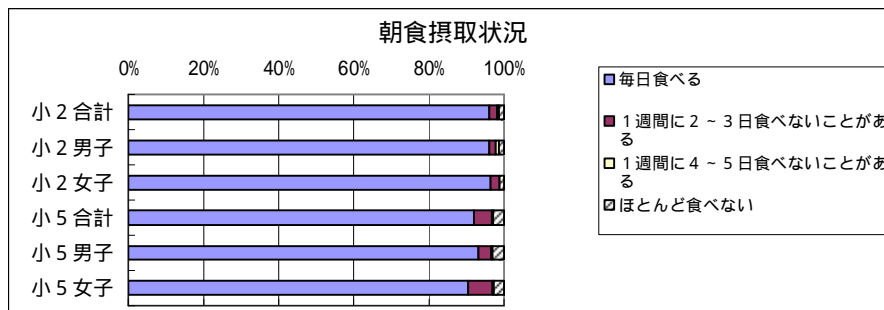


就寝時刻は、2年生は「9～10時」、5年生は「9～10時」「10～11時」と回答した児童が多かった。11時以降に就寝する児童は2年生で5.1% (10%)、5年生で13.9% (17%) あった。

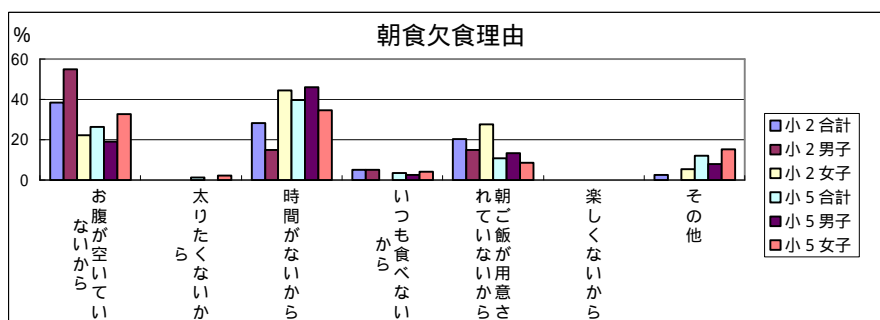


5 朝食摂取状況、欠食理由

朝食を「毎日食べる」と回答した児童は、2年生 96.2%（92%）、5年生 91.9%（90%）であった。「食べないことがある」と答えた児童は、2年生より5年生の方がやや多く、特に5年生では男子より女子の割合が高かった。また、「ほとんど食べない」は、2年生 1.4%（3%）、5年生 2.8%（2%）であった。

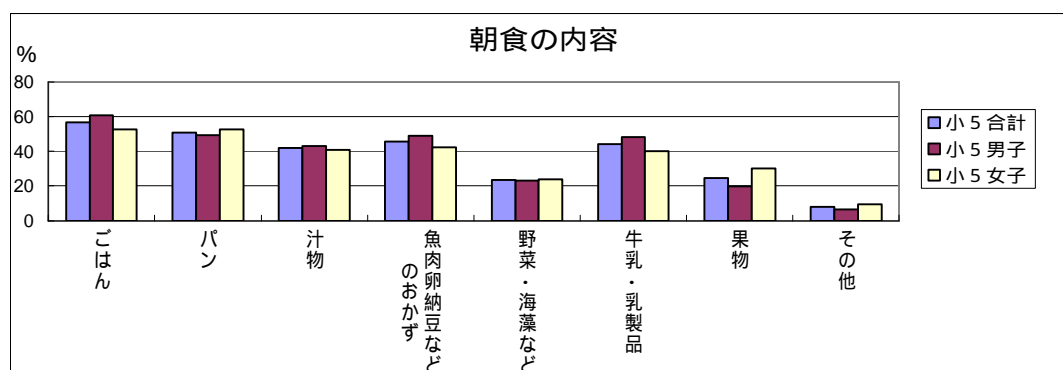


朝食の欠食理由として最も多かったのは、2年生男子では「おなかがすいていないから」52.4%、女子では「時間がないから」44.4%、5年生では「時間がないから」39.8%であった。（前回調査で最も多かった理由は「時間がないから」2年生 35%、5年生 42%）また、「朝ごはんが用意されていないから」という項目の割合も低くなかった。



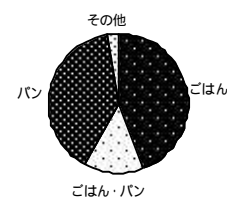
6 朝食の内容（5年生にのみ調査）

「魚・肉・卵・納豆などのおかず」を食べている児童は 45.5%であり、「野菜・海そうのおかず」を食べている児童は 23.9%にとどまっていた。



主食の内容は、「ごはん」が44%、「パン」が39%、「ごはん」「パン」両方の回答があった児童が14%であった。

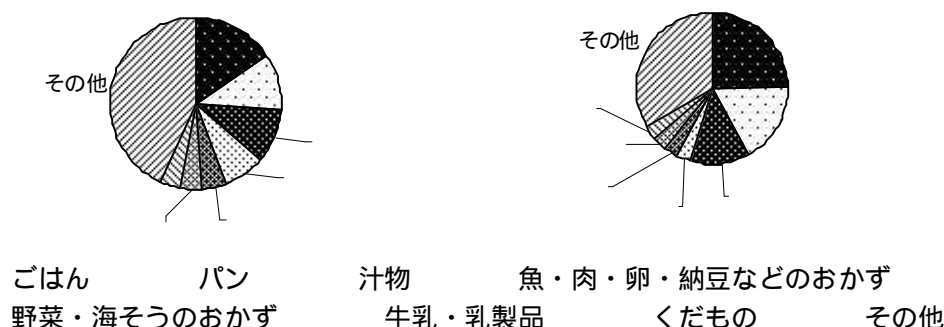
主食の内容



朝食の内容を主食別にみると、「ごはん」の方が多くの品数を摂っている傾向にあり、「ごはん、汁物、魚・肉・卵・納豆などのおかず」が16%、「ごはん、汁物、魚・肉・卵・納豆などのおかず、野菜・海そうのおかず」の組合せが11%であったのに対し、主食が「パン」の場合は、「パン」だけが25%、「パン、牛乳・乳製品」が17%、「パン、牛乳・乳製品、くだもの」が12%を占めていた。「くだもの」については主食が「パン」の方が多く食べられている傾向にあった。

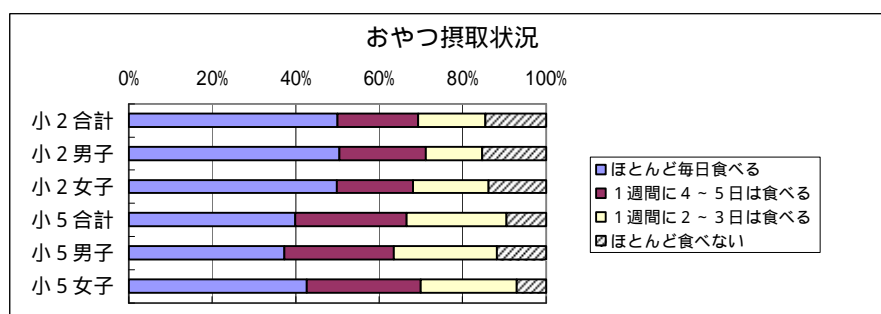
朝食の内容（主食がごはんの場合）

朝食の内容（主食がパンの場合）

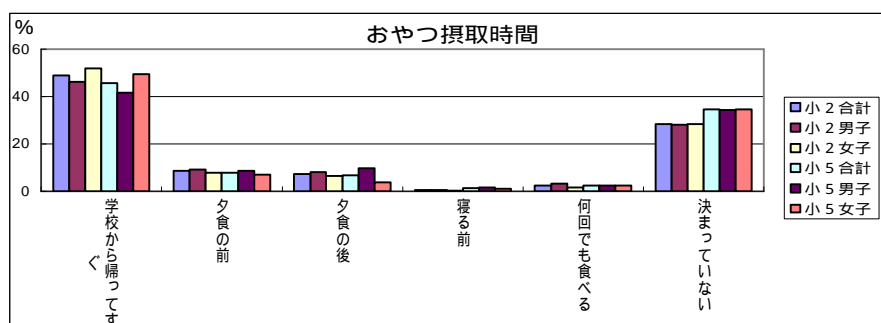


7 おやつ摂取状況、摂取時間、内容

「ほとんど毎日食べる」と回答した児童から「一週間に2～3日食べる」と回答した児童まで含め、おやつを食べると回答した児童は、2年生85.5%（83%）、5年生90.5%（89%）で、女子の割合が高かった。

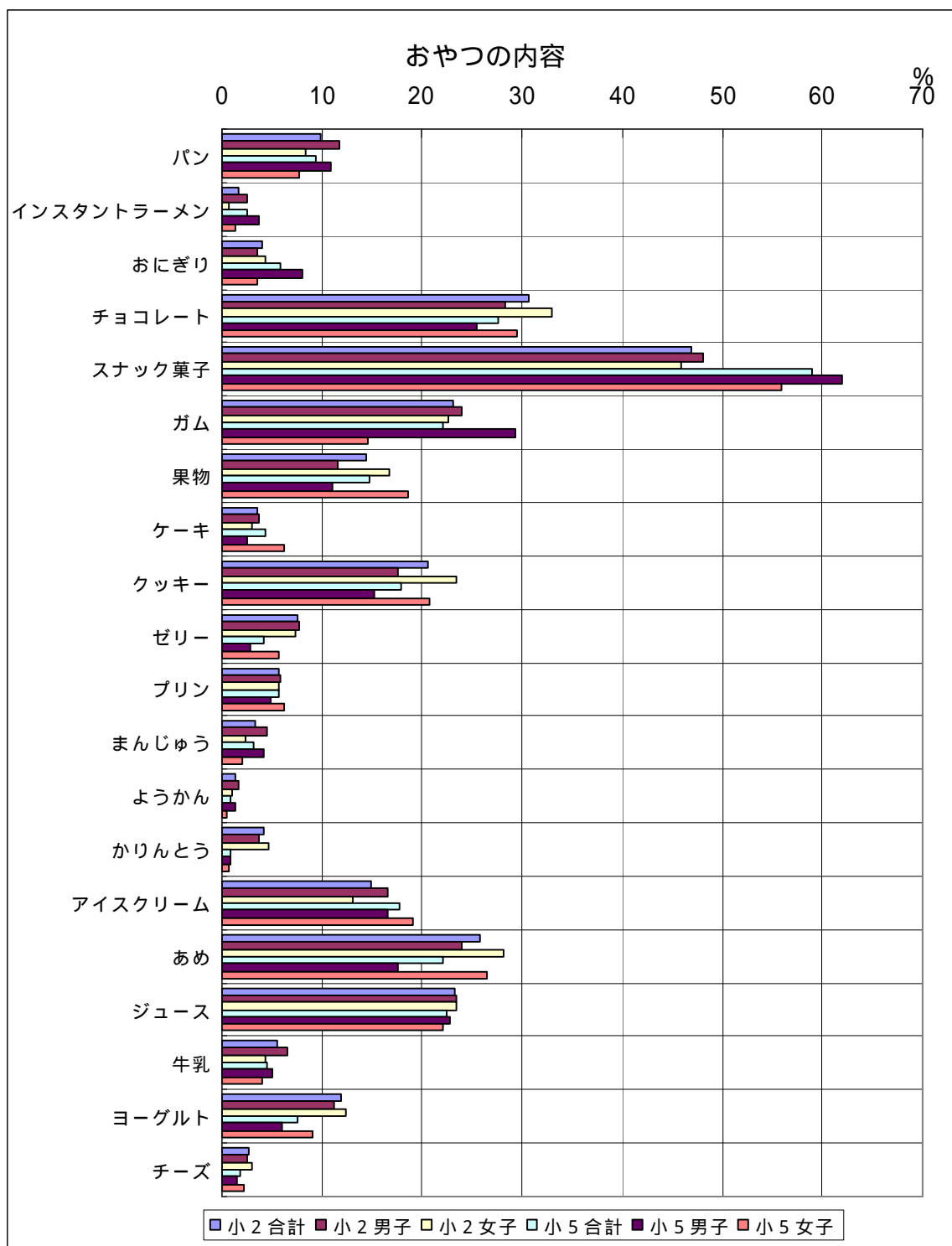


おやつを食べる時間は、「学校から帰ってすぐ」は2年生48.7%（48%）、5年生45.5%（37%）、また、「決まっていない」と回答した児童は2年生28.2%（30%）、5年生34.4%（47%）であった。



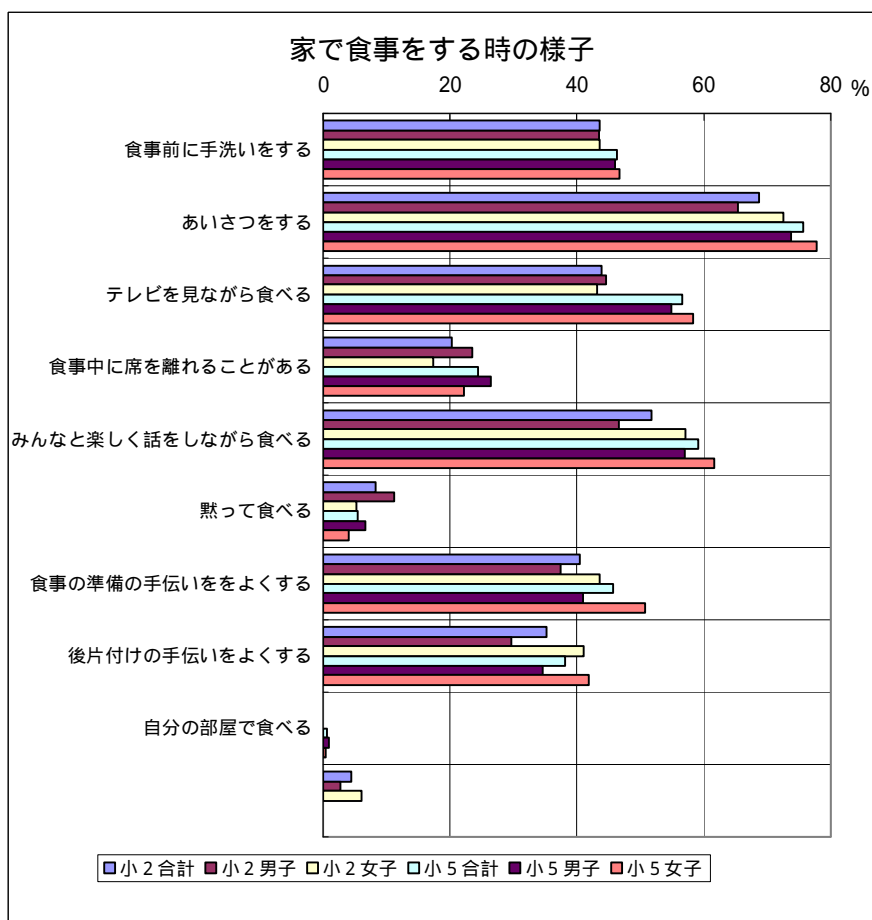
おやつの内容は、「スナック菓子」が最も多く、2年生より5年生の方がよく食べていた。特に5年生男子（女子）の割合が高かった。

前回調査は9月実施で「アイスクリーム」「ジュース」の割合が高かったのに対し、今回の調査は12月実施であり「チョコレート」「クッキー」の割合が高くなっていた。



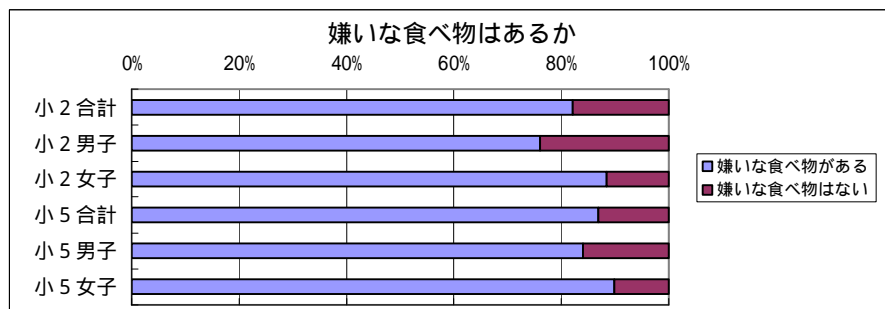
8 家で食事をする時の様子

「あいさつ(いただきます・ごちそうさま)をする」は7割程度、「食事の前に手洗いをする」は半数弱であり、「テレビを見ながら食べる」は2年生 43.9%、5年生 56.6%であった。また、「食事の準備や後片付けの手伝いをする」は4割程度であった。

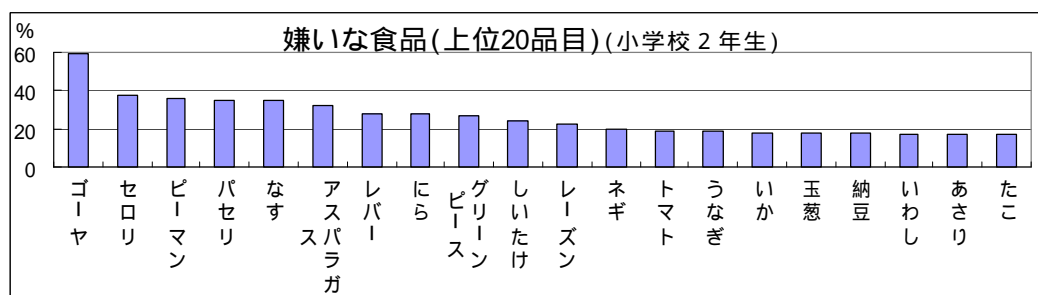


9 嫌いな食べ物があるか、その対応は？

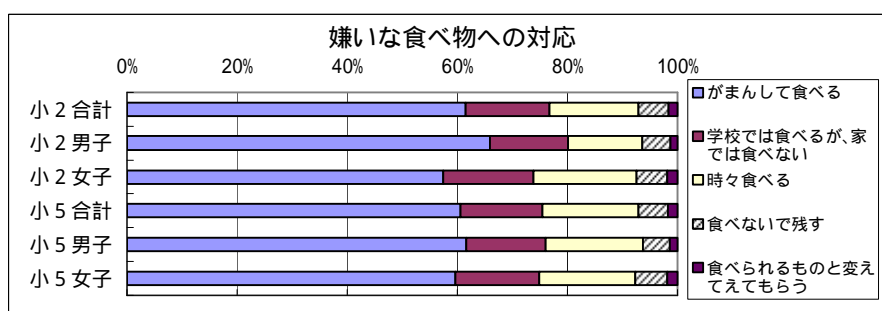
「嫌いな食べ物がある」と回答した児童は2年生 82.2% (72%)、5年生 86.9% (81%)であった。男女間で差が見られ、女子の方の割合が高かった。



嫌いな食品としてはゴーヤ、セロリ、ピーマン、なす、パセリ等の野菜が上位であった。

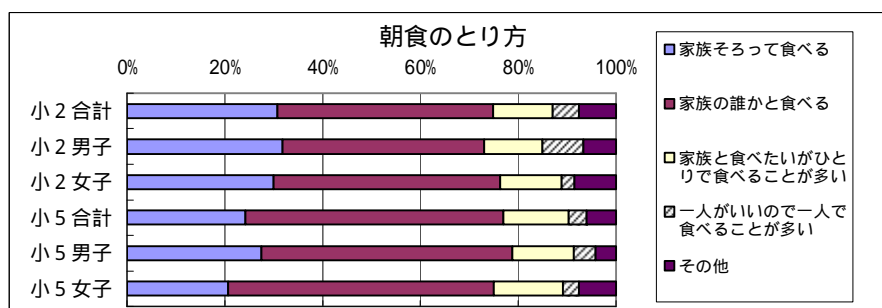


嫌いな食べものを「がまんして食べる」と回答した児童は、2年生 59.1% (48%)、5年生 59.8% (45%) で、「学校では食べるが家では食べない」と回答した児童は 14.7% (18%)、「食べないで残す」は 5.3% (10%) で2年・5年とも同じであった。

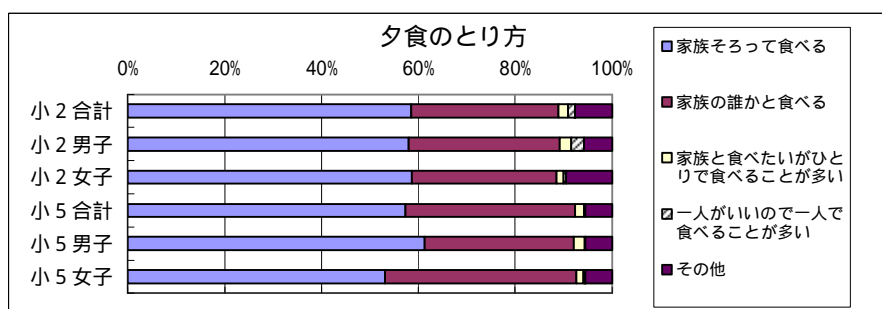


10 朝食のとり方、夕食のとり方

朝食を「一人で食べる」と回答した児童は、2年生 17.6% (20%)、5年生 17.2% (17%) であった。

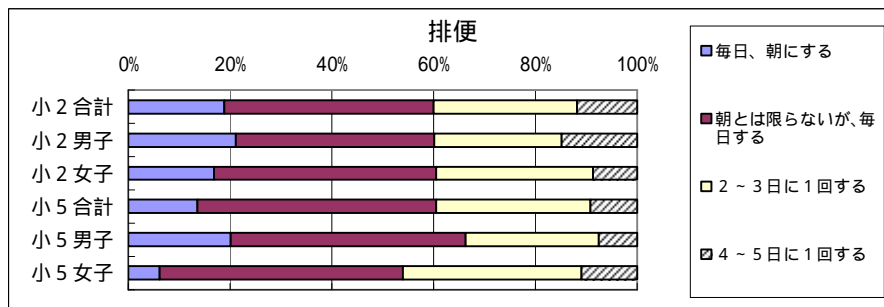


夕食は、「家族と一緒に食べる」割合が高く、「家族そろって食べる」「家族の誰かと食べる」と回答した児童が2年生で 89% (86%)、5年生で 92.5% (91%) あった。



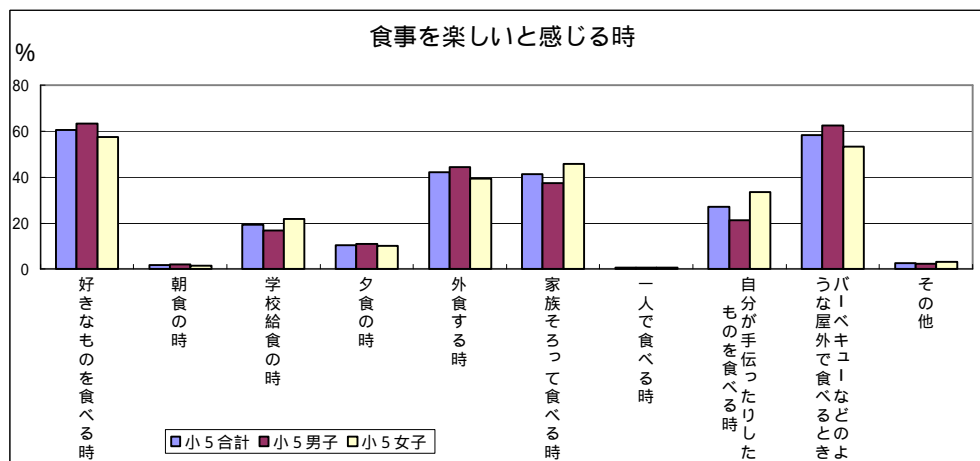
11 排便

排便を「毎日する」と回答した児童は、2年生 59%（60%）、5年生 61.9%（58%）で、「毎日、朝にする」は5年生では男女間で差が大きく、男子 20.6%に対し女子 6.5%であった。



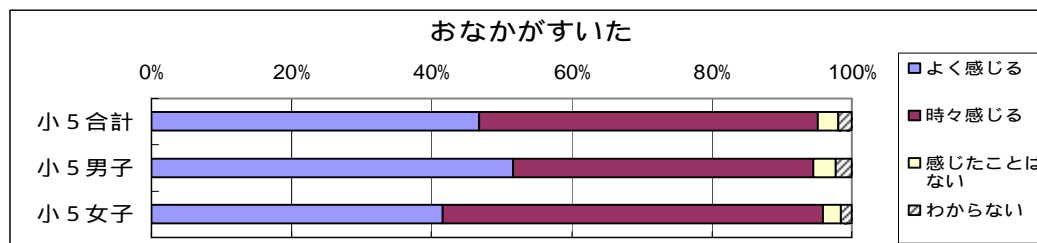
12 食事を楽しいと感じる時（5年生にのみ調査）

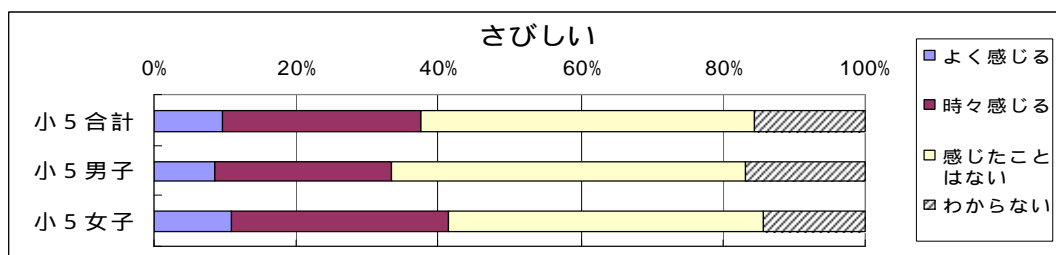
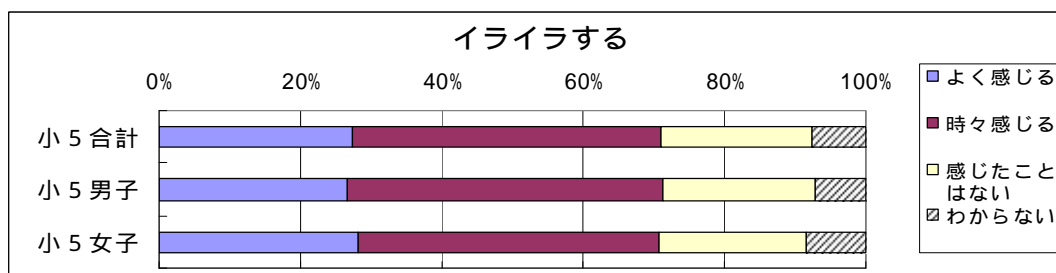
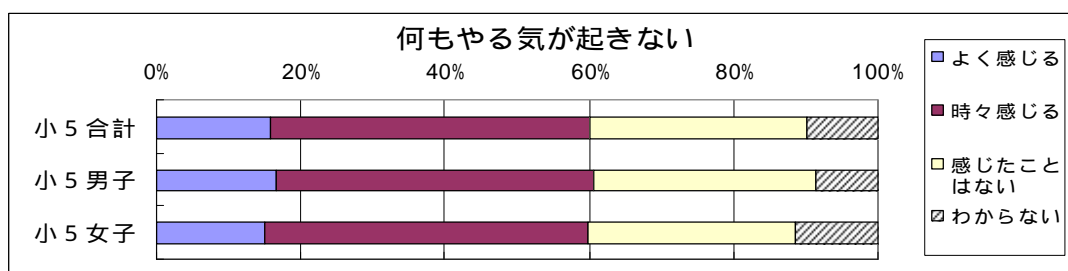
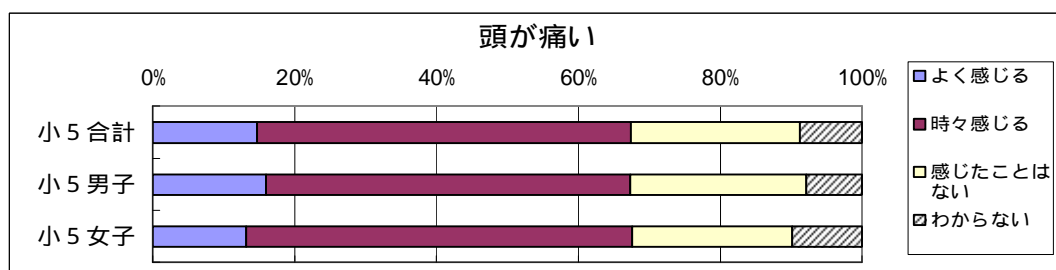
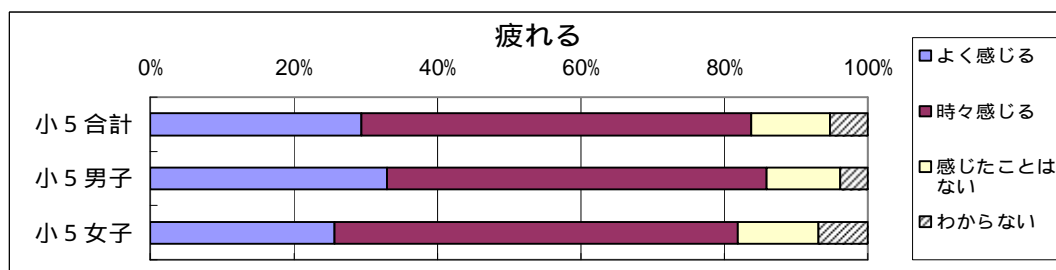
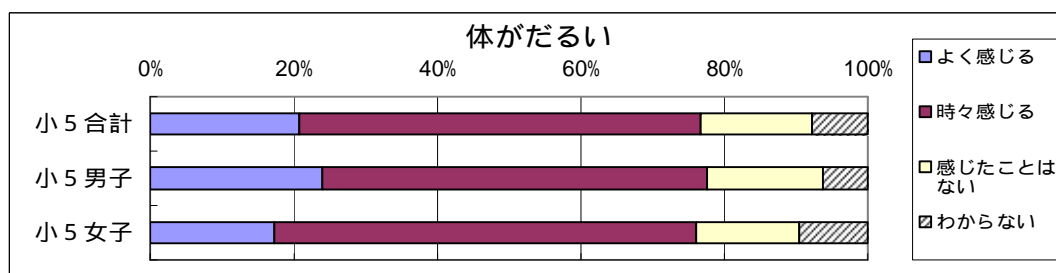
「好きな物を食べる時」「バーベキューなどのような屋外で食べる時」と答えた児童が多く、次いで「外食する時」「家族揃って食べる時」であった。「学校給食の時」は2割程度あった。



13、不定愁訴（5年生にのみ調査）

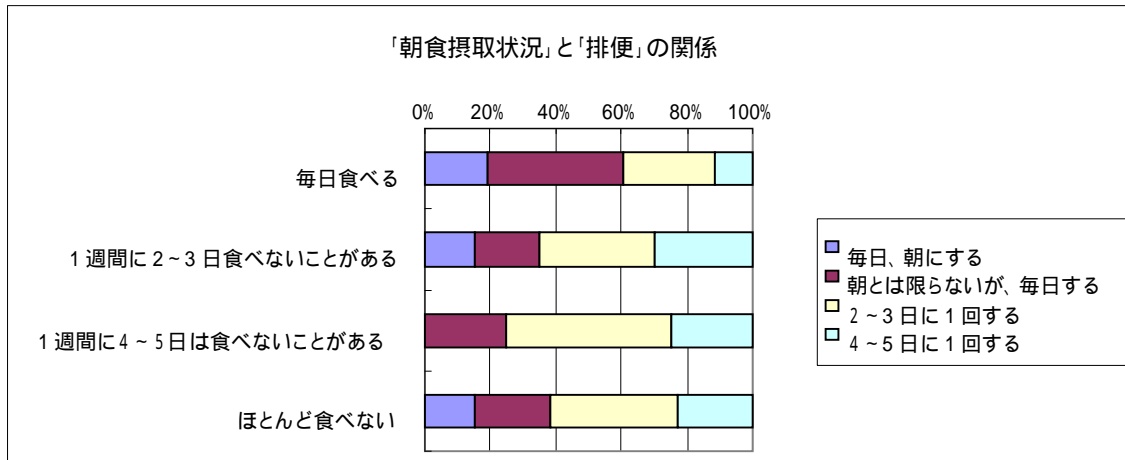
ほとんどの児童が「おなかがすいた」と感じている。また、「疲れる」「体がだるい」「イライラする」「頭が痛い」「何もやる気がおこらない」という項目において、「よく感じる」「時々感じる」と回答した児童の割合が6割以上になっていた。



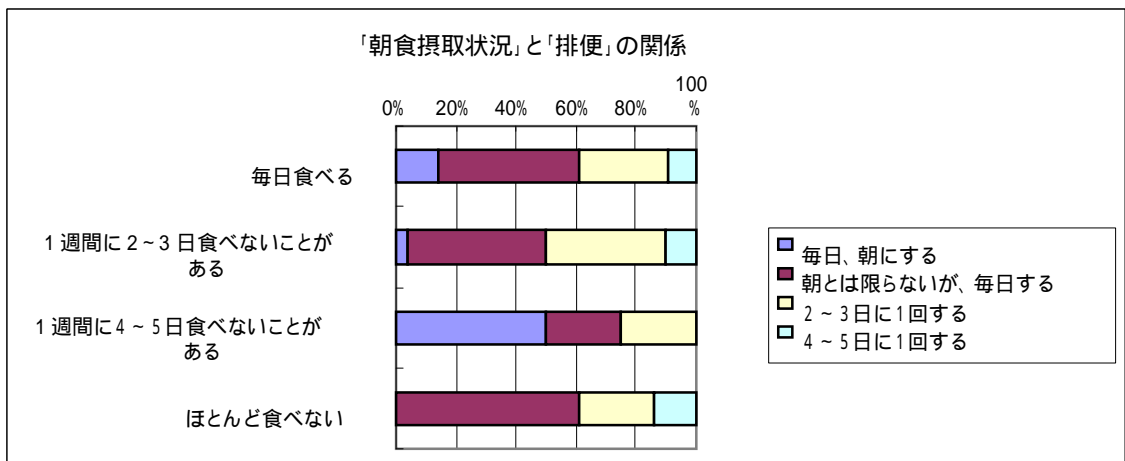


クロス集計

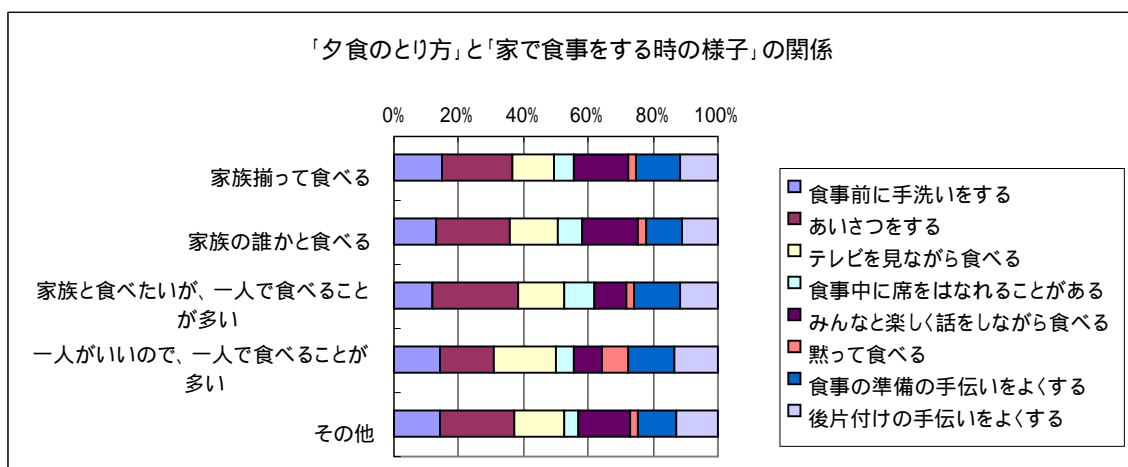
「朝食摂取状況」と「排便」の関係 【2年生】



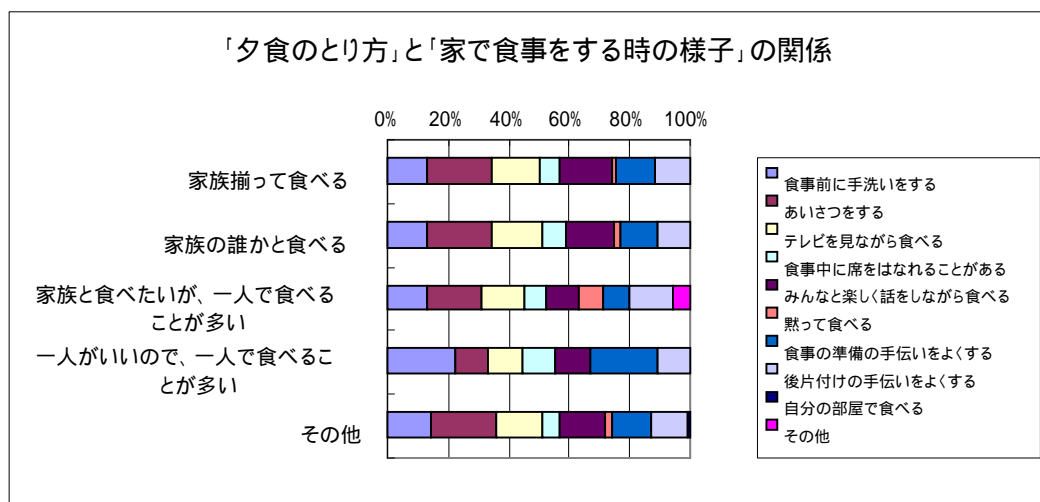
【5年生】



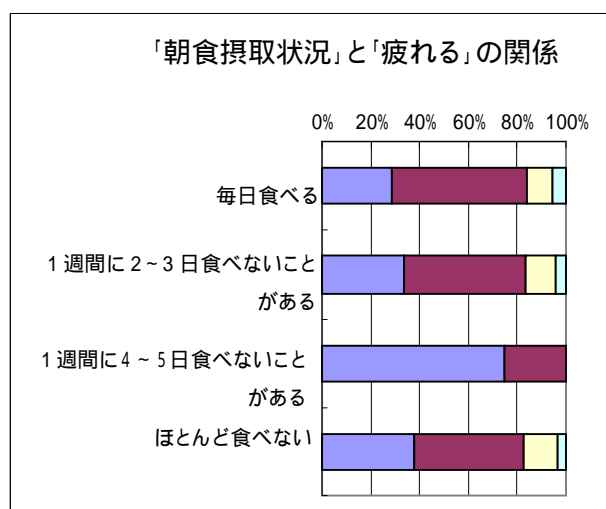
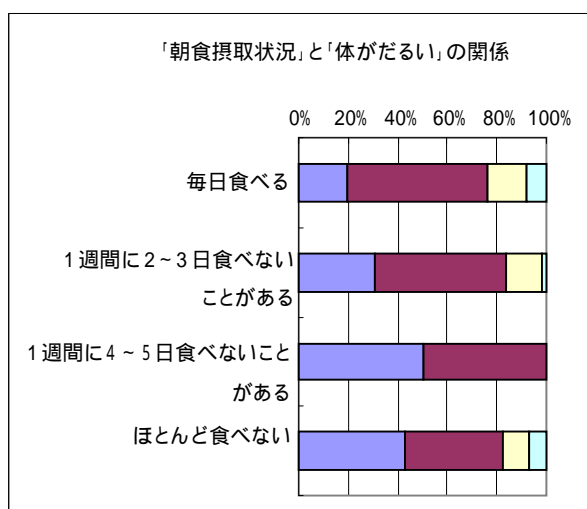
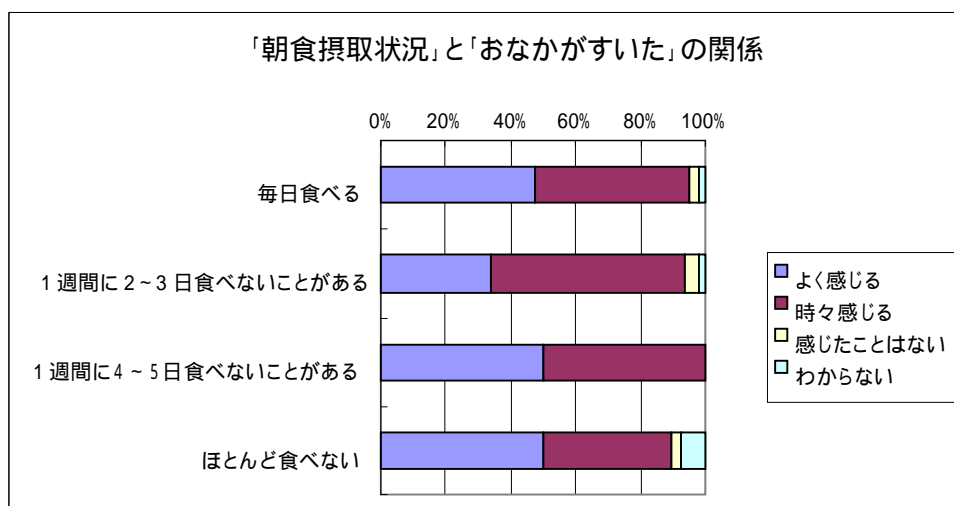
「夕食のとり方」と「家で食事をする時の様子」の関係
【2年生】

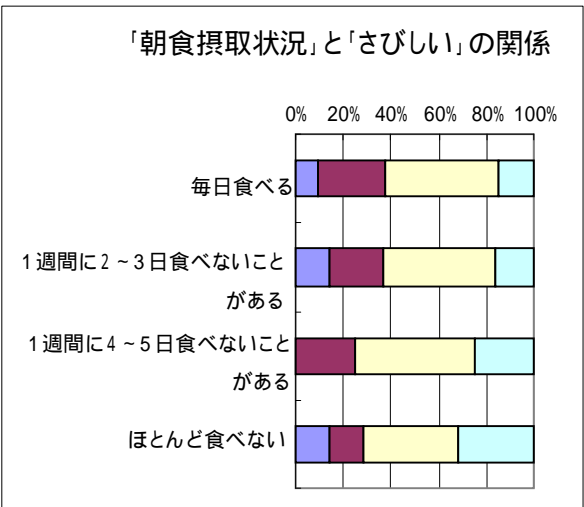
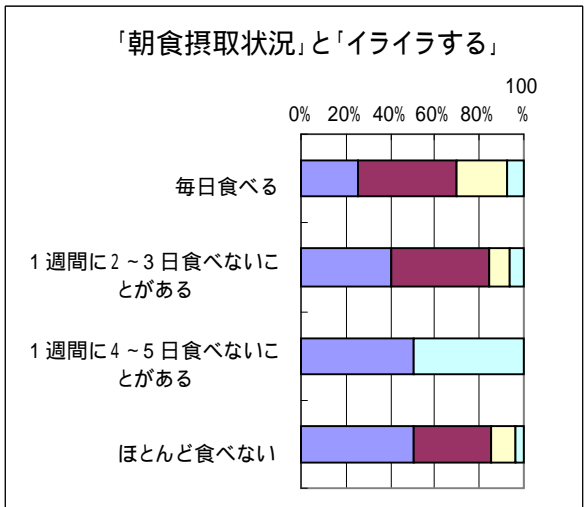
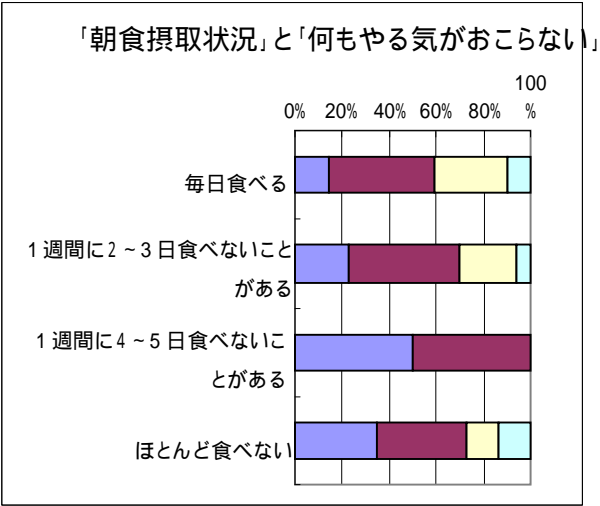
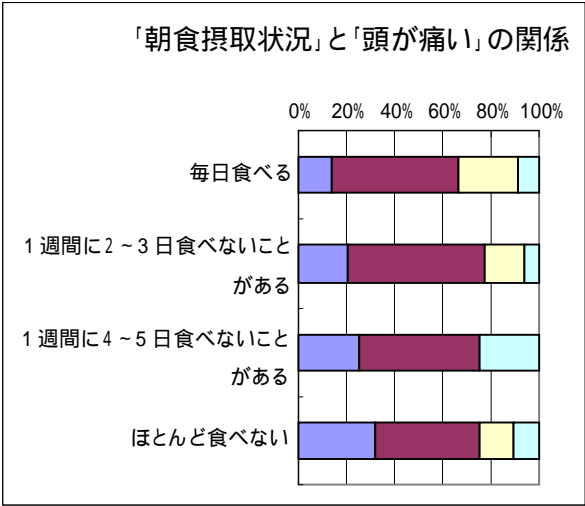


【5年生】

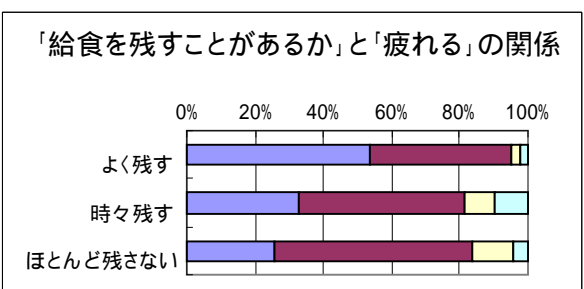
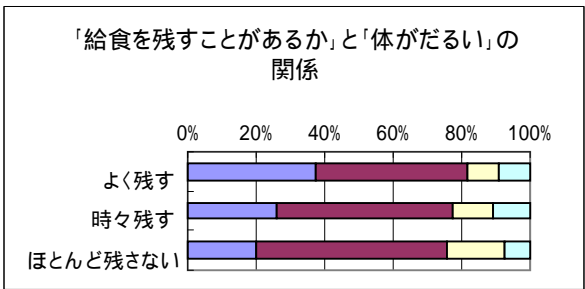
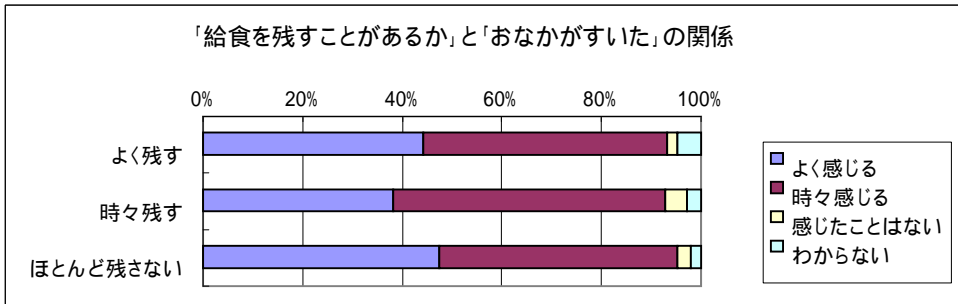


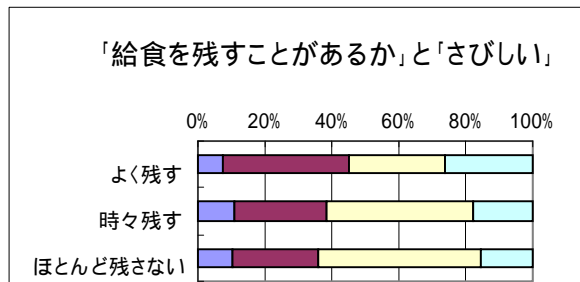
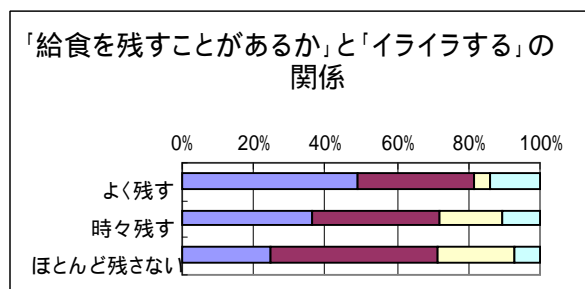
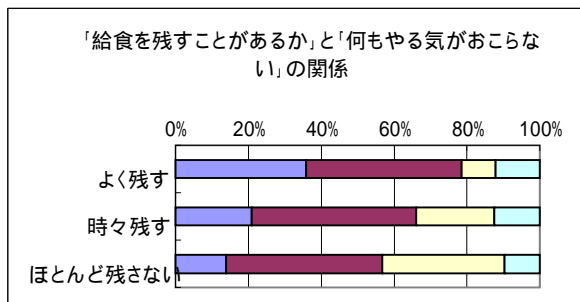
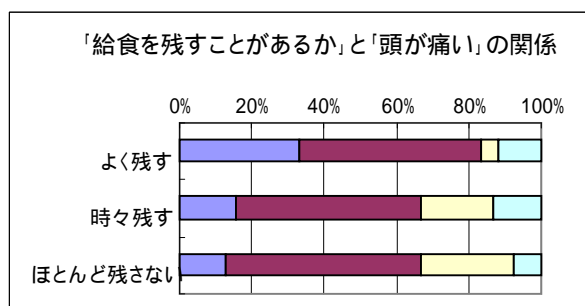
「朝食摂取状況」と「不定愁訴」の関係 （以降5年生のみ）
 朝食を毎日摂っている児童は、朝食を欠食することのある児童に比べ、「体がだるい」「
 「疲れる」「頭が痛い」「何もやる気がおこらない」「イライラする」と感じる割合が低かった。





「給食を残すことがあるか」と「不定愁訴」の関係
 給食をよく残す児童ほど「体がだるい」「疲れる」「頭が痛い」「何もやる気がおこらない」「イライラする」「さびしい」と感じる割合が高かった。





「食事を楽しいと感じる時」と「不定愁訴」の関係
 一人で食べる時が楽しいと感じる児童は「体がだるい」「疲れる」「頭が痛い」「イライラする」とよく感じている。また、「さびしい」と感じる割合も高かった。

